



地域と医療のコラボレーション

ハーモニー

Harmony ♪

第18号

2010 / June

発行 / 医療法人社団協友会 東大宮総合病院

編集 / 広報委員会

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614

<http://www.higashiomiya.or.jp/>

特集

平成22年度の診療体制

東大宮総合病院 院長 坂本 嗣郎

本年3月に「昨今の医師不足の折、東大宮総合病院では医師数を5割増やした。医師が集まる病院とはどんな病院なのか。医師を集めるノウハウとはどのようなものなのか」というテーマで、NHKおはよう日本の取材が当院に入りました。取材班は院長、事務長のインタビューを約半日にわたって行い、病院のポリシー、医師の労働環境、就労条件、年俸契約や個別の医師のニーズに答えるべき細かな採用手順などについて取材が行われました。

4月の医師増員による診療体制の強化は、明らかに入院患者数の増加という形で現れました。総合診療科では脳血管疾患、呼吸器疾患などの急性期の患者さんをスムーズに受け入れられるようになり、整形外科も病棟が満床になるほど患者さんであふれ、脳外科の緊急手術数も急増しました。しかし、医師の急増に伴って患者数も増加する一方、リスクも増加しています。そこで、医療安全管理室では医療を安全に実施するための監視を強化し、情報伝達のエラーによるミスや慣れない新入職員への手順の周知徹底に努めています。更に、医師や看護師、コメディカルとの情報共有のためのカンファレンスが一層強化されました。このように新しい体制作りへ院内の各部署が取り組んでいます。その例として脳卒中患者へのチーム医療体制を目的とするストロークチームがあります。救急部門も改善の

めに当直医体制や救急専用ベッドの運用に取り組み始めました。

一方、医療全体として質を確保するための取り組みとして、クオリティ・マネジメント課の新設をしました。行われた医療のアウトカムを監視し、質の改善を図ろうとする目的があり、当院独自の評価指標を考案し、継続した質の監視を続けていきます。

当院は「愛し愛される病院」という理念のもとに運営してきましたが、その内容は年々見直されています。総合診療科やストロークチーム、回復期リハビリテーション病棟、そしてがん相談支援センターを通して、地域連携を基盤に病院の近代化を図ることが地域における役割と考えています。

東大宮総合病院 基本方針

- 1、患者権利の尊重
- 2、医療の質の向上、医療水準の向上
- 3、説明と同意を基本とした、医療者―患者様のパートナーシップの構築
- 4、地域住民に安心される救急医療の実践
- 5、生活習慣病の予防と検診の充実
- 6、常に向上を目指す医療人の育成
- 7、経営基盤の健全維持

総合診療科

総合診療科は、大学病院の振り分け外来担当というイメージがありますが、当院ではこれと違った総合的な内科（外来・入院）診療、地域開業医紹介患者なども含め、患者様がどこに相談していいかわからないなど、一番困っている時に総合的に対応できるような、患者様の身近に在る診療科になることを目指しています。また、当該科で担当する医師の専門分野や経験を活かしながら、他の専門診療が必要な場合には、それらの診療科と密接な連携のもと診療するとともに、専門診療科での診療がより適切と判断される場合は速やかに転科していただく場合もあります。まずは常勤5名でスタートいたします。

神経内科

総合診療科では診療科目に神経内科を掲げています。山下部長が担当し、外来から入院まで一連の診療体制の強化を行います。神経内科は脳や神経を対象とした内科系の診療科です。代表的な病気として、脳卒中、片頭痛、めまい症、アルツハイマー病、パーキンソン病などが挙げられます。脳や神経がおかされると生活に重大な障害が生じてしまうこともしばしばです。そうした症状でお困りになりましたら、できるだけ早めに神経内科にご相談ください。なお、気分的なことや精神的なことでお悩みでしたら、まず神経科や心療内科を受診されますようお願いいたします。

乳腺外科

乳腺外科では、乳房に関するさまざまな症状（しこり、痛み、分泌など）に対して診断を行い、治療方法をお示し治療しております。自己判断や周りからの情報に惑わされることなく、ご心配のことがございましたら是非乳腺外科をご受診ください。

- 乳房の気になる症状は、乳腺外科外来にご相談ください
- ・乳房の形が最近になって変化した
 - ・乳房に「しこり」を触れる
 - ・腕を挙げたとき、乳房に「えくぼ」「ひきつれ」がある
 - ・乳首からの分泌（レンガ色）がある
 - ・乳首にびらんや、ただれを認める
 - ・乳房全体が赤く腫れていたり、乳房に潰瘍ができて治らない
 - ・わきの下のしこり（硬いリンパ節）を触れる



総合診療科 部長 酒井 直

日本内科学会内科専門医指導医
日本血液学会専門医指導医
日本医師会スポーツ認定医
日本医師会産業医
日本糖尿病協会糖尿病療養指導医
がん治療医認定機構がん治療認定医

総合診療科 担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前	酒井	神田	市原(め)	山下	船津	市原(め)
午後	船津		山下	市原(め)	神田	



総合診療科 部長 山下 博史

日本神経学会専門医指導医
日本内科学会認定医

神経内科 担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前					予約制 福澤	
午後	山下	予約制 福澤		予約制 ※福澤	予約制 鈴木	

※第2木曜日だけの診療



乳腺外科 部長 奥山 伸男

日本乳癌学会専門医
日本超音波学会専門医指導医
日本外科学会専門医指導医
検診マンモグラフィー読影認定医
日本医師会認定産業医

乳腺外科 担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前	奥山	奥山			奥山	奥山
午後			奥山			

● リウマチ・膠原病科

リウマチ・膠原病科は主にリウマチ性疾患（関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎、混合性結合組織病、シェーグレン症候群、リウマチ性多発筋痛症、血管炎症候群等）に対して最新の医療を提供することを目標としています。当科では、関節リウマチに対しては抗サイトカイン療法を含めた生物学的製剤による積極的な薬物療法を行っており、難治症例に対しては、特に積極的なアプローチをしております。また、他の膠原病疾患等では、多くの例で現在でもステロイド療法が基本ですが、それに加えて免疫抑制薬や生物学的製剤などを利用した新しい治療法も積極的に取り入れております。



リウマチ・膠原病科
部長 高木 賢治

日本リウマチ学会専門医指導医
日本リウマチ学会評議員
日本内科学会指導医
日本在宅医学会認定専門医
日本プライマリケア学会認定医指導医

◆ リウマチ・膠原病科 担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前	高木	高木	/	/	高木	高木
午後	/	/	松岡	/	/	/

● 麻酔科・救急

麻酔科は名前の通り、手術の際に麻酔をかけることを主に行っています。手術を受ける患者さんの手術前の状態を評価し、全身麻酔、硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、神経ブロック、鎮静などさまざまな麻酔法を用いて手術中の管理を行い、手術が終わった後に可能な限り楽になれるように勤めます。この従来の麻酔業務に加え、今年度から、各種救急患者の受け入れ、救急処置の中心的役割を担い、今までより重症な患者（たとえば重症な感染症、ショックなど）の受け入れを行います。入院後の管理も我々が中心となり、呼吸、循環の管理を行い、また各専門科とチームを組んで治療に当たります。加えて、带状疱疹による痛み、顔面神経麻痺などペインクリニックの治療も行っています。

麻酔科・救急
部長 西山 友貴

日本麻酔科学会指導医
日本集中治療医学会専門医
日本ペインクリニック学会認定医
日本蘇生学会指導医
日本救急医学会 ICLS コース終了
日本麻酔科学会代議員
日本集中治療医学会評議員
日本ペインクリニック学会評議員
日本循環制御医学会評議員
日本麻酔科学会関東甲信越地方会代議員
日本集中治療医学会関東甲信越地方会評議員



● リハビリテーション科

リハビリテーション科は、主に神経・筋・骨格系の異常にもとづく運動機能障害者を対象として、医学的治療や治療的訓練を実施する診療科です。すなわち、疾患により生じた移動・身の回りの動作・コミュニケーションなどの障害に対して、失われた機能の回復をうながすとともに、残存能力を最大限に引きのばすための治療を行い、患者様が家庭復帰や社会復帰ができるように援助しています。



リハビリテーション科
医長 森 俊子

日本リハビリテーション医学会専門医

◆ リハビリテーション科 担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前	/	森	装具診	/	森	/

■ 当診療科の対象疾患
脳卒中後片麻痺（半身麻痺）、頭部外傷後遺症、脊髄損傷、神経筋疾患、末梢神経障害、慢性関節リウマチなどの骨関節疾患、慢性腰痛、四肢奇形または切断、脳性麻痺、外科手術や重症疾患治療後の廃用性症候群、慢性呼吸不全、リンパ浮腫など

顧客サービス委員会の取組み

私たち顧客サービス委員会では、地域の住民のみならずを対象とした「院内体験ツアー」や、患者満足度調査（外来・入院）などが主な活動内容です。また、患者様からの意見をもとにさまざまな改善に取り組んでおります。



ふれあい広場

この広場、患者は14日帰院と帰院いたします

改善事例として…

- ① 携帯電話の使用可能区域を大きく表示しました
- ② 放射線科の待合場に、テレビを設置しました

ふれあいの箱（意見箱）に入っていた意見には、担当部署から返答させていただき、各階にある掲示板に掲示しておりますのでご覧ください。入院患者様・外来患者様ともに満足のいく病院環境が整えられるよう努力したいと思います。



病室から仕舞い込みにして、病室の責任者が確認してあります。ご自身の病室に設置してありますので、お手持ちの紙がございましたらお近くの「ふれあい広場」へお持ちください。

顧客サービス委員会

当院の 数字アラカルト

21年度の事業計画として、地域の基幹病院としてもっとも重要である地域の医療機関様が患者様を紹介しやすい病院の構築に力を注ぎました。上部内視鏡検査の紹介患者様については、直通ダイヤルを設置し即座に検査予約などができるなど手続きを簡素化しました。そして、種々の医療活動により昨年度比10%増の紹介患者様を受けることができました。また、地域がん診療連携拠点病院申請条件を満たすための整備について、地域の開業医の先生方との北さいたま消化器カンファレンスの発足、緩和ケアチームの活動、心療内科医を招聘しがん患者様のメンタルケアにおいても強化することができました。残念ながら施設的な問題で拠点病院の許可は現時点では難しい状況ですが、その申請に恥じない環境を整備することができました。その他、オーダーリングシステム導入により、待合の見やすい画面での表示、待ち時間の短縮、病棟の個室を増設、病棟の療養環境改善の工事、その他院内効率化を図るための工事や老朽化した機器の入れ替えなど、21年度は院内の施設整備の年になりました。

外来患者数	667.6人/日
入院患者数	236.7人/日
在院日数	15.7日
ベッド稼働率	74.5%
救急件数	236.2件/月
手術件数(全麻)	85.3件/月
心臓カテーテル検査件数	31.2件/月
内視鏡件数	356.8件/月

(平成21年度平均)

編集後記

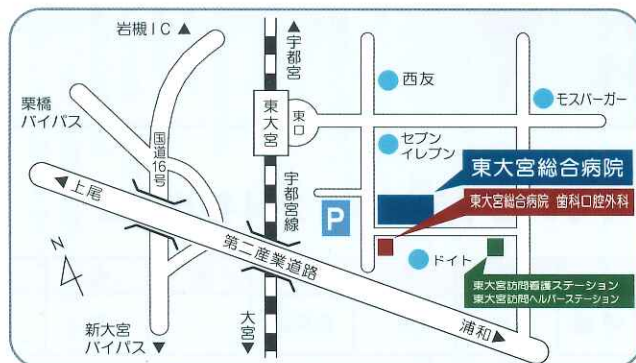
4月に新卒者32名を迎え、2ヶ月が経ちました。研修を終え、配属された各部署で毎日の業務に励んでいます。まわりの私たちもより良い医療を提供できるよう、初心を忘れず、業務に取り組んでいきたいと思っております。

医療法人社団協友会



東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18
TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614



JR宇都宮線「東大宮」駅下車
東口より徒歩3分